

江戸文化 細棹 三味線 妙技 寄席

ぺんぺん



端唄、小唄、俗曲

梅は咲いたか、ギッチョンチョン、他

和楽器の紹介

普段身近にない鼓、太鼓、笛、琵琶、琴等
色々な古典楽器の演奏

箏…ROCK段

琵琶…祇園精舎

三線…安里屋ユンタ



江戸文化 細棹 妙技

三味線、鼓、太鼓、大鼓、笛の合奏妙技

細棹三味線の長唄には大きくわけて2種類あり、情景描写と
物語(段物)の曲

情景描写は、季節感と生物等
の表現。

春…新曲胡蝶(蝶々が遊ぶ)

夏…蛙(梅雨)

秋…秋色種(虫の声)

冬…鷺娘(雪の降る中に鷺の
妖精が恋い焦がれる)

物語の曲の多くは歌舞伎音楽が多く、土蜘蛛(蜘蛛の精
と源頼光の戦い)や、勸進帳(牛若丸、弁慶シリーズ)、
鬼で有名な茨城の童子等の物語等。

越後獅子、連獅子、他



三味線Henry(杵屋喜鶴)

長唄五世家元杵屋喜多六の長女として生まれる。

杵屋勝国師に師事。

東京藝術大学長唄三味線専攻卒業。

正当な古典芸能に勤しみ、その上で型破りな創作活動も志し、現代舞踊や洋楽等と共演。故六柳庵やそ(三味線やそすけ)氏と共演し、奥義を伝承される。

地歌舞伎の下座音楽を担当し、琵琶や三線、浄瑠璃等にもチャレンジ。

解りやすい解説や楽しいお話を交えて長唄の魅力を広める「寺子屋」や、名古屋や中津川で三味線教室、文化庁の親子文化教室等を開催。

「ぺんぺん寄席」の名称は故六柳庵やそ(三味線やそすけ)氏より継承。

ご要望があれば、無料三味線ワークショップをいたします。また、プロジェクター等で解説をすることも可能です。

ぺんぺん楽団

〒464-0074 名古屋市千種区仲田1-3-8 HC御殿
e-mail: penpen.d.live@gmail.com